

審議会等の会議結果報告書

| | 課所名 | 生涯学習課 |
|------|---|-------|
| 会議名 | 令和5年度第5回諏訪市子ども読書活動推進委員会 第4次子ども読書活動推進計画 第4回策定委員会 | |
| 開催日時 | 令和6年2月6日(火)午後3時00分～4時00分 | |
| 開催場所 | 諏訪市図書館 第1会議室 | |
| 出席者 | (出席委員)竹内委員長・矢崎副委員長・赤羽委員・市川委員・ 松井委員・後藤委員・加藤委員・八代委員 (欠席委員)飯田委員・増田委員 (オブザーバー)草間教育委員 (事務局)三輪教育長・細野教育次長・宮阪生涯学習課長・茅野図書館長・宮坂主査 | |
| 資料 | 「第4次諏訪市子ども読書推進計画(最終案)」 | |

協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

- 1、開会(宮阪生涯学習課長)
- 2、教育長あいさつ
- 3、協議事項
 - (1)第4次諏訪市子ども読書活動推進計画(最終案)について
- 4、その他
- 5、閉会

<主要意見>

- パブリックコメントを読んで感じたのは、子どもに向けた研修や講座といった視点が抜けていたこと。子どもたちの、読書に興味を持つためにこんな講座を開いて欲しい、自習席が足りない時があるので増やして欲しい、などといった声を聞くことができ、それを計画に反映できたことは大きいと考える。
- 学校の読み聞かせボランティアの方々が困っていることで、読み聞かせの方法や本選びに自信が持てないので、初心者向け講座を開催して欲しいという声があった。→市図書館での開催のほか、地域の公民館からの読み聞かせ講座の依頼が来ている。
- 読み聞かせはとても楽しい催しだが、読み聞かせだけでは本が好きな子、本を読む子にならないと考えている。本のことを語る場や、本について語れる人が必要。
- かつてはいわゆる9類の本、物語を読みなさいという指導がなされてきたが、今は物語だけではなく、色々な分野の中から好きな本を見つけられるように変わっていく必要があると思う。どうしたら自分になじみがない分野の本を手取るかと考えていたが、他の人の好きな本の話聞くことで自分の好み以外の本の世界に飛び込んでいきかけとなるのではと思った。
- 学校において、図書館は癒しの場になっているように思える。朝読書について、働き方改革で時間を捻出するに当たり槍玉に上がることもあるが、子どもたちのためになるように検討していただきたい。→朝読書の件については、校長会を通じて、市内全校で大事にしていこうという話をした。
- 来年度から教科書が変わるが、出前講座の5年生の年鑑学習などは改定後もこのまま継続で大丈夫なのか。→来年度以降に採用予定の教科書を確認し、単元にあったので継続で問題ないと考えます。